

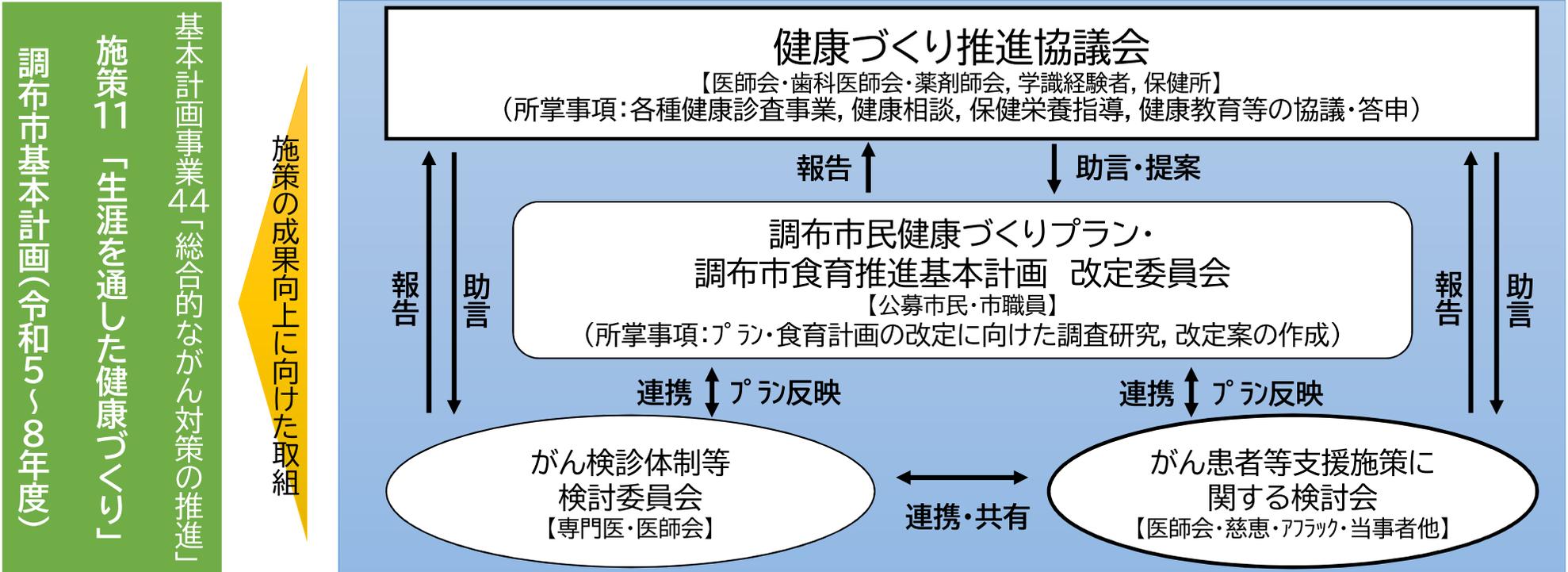
1 検討会の構成

関係機関・職種等		人数	委員
調布市医師会	医師(副会長・理事)	3人	荒井副会長・小川理事・麻生理事
慈恵第三病院	医師(医療連携・緩和医療)	2人	花岡医療連携室長・村瀬がん診療センター副センター長
訪問看護ステーション	看護師(協議会推薦)	1人	訪問看護ステーションCsupport石川代表
アフラック	医療職・事務職(幹部職員)	2人	藤井CD部医長・佐藤SC部部长
がん経験者	市職員・アフラック社員	2人	-
福祉健康部	事務・保健師	2人	野澤部長・水谷主幹



2 検討会・委員会の位置付け(既存の協議会等との関係イメージ)

調布市がん対策の推進に関する条例



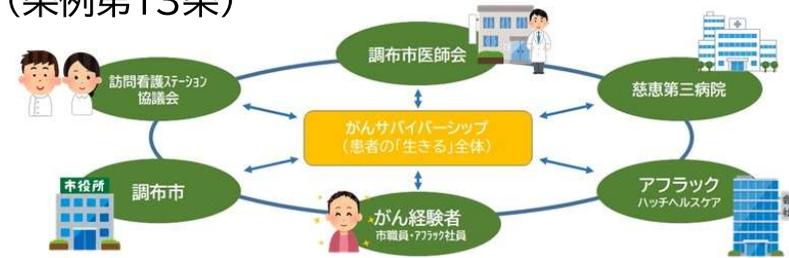
令和5年度 がん患者・家族の支援施策に関する検討会について

3 令和5年度 主な検討テーマ

- ①本市のがん患者支援施策の方向, 関係機関の連携のあり方
- ②がん患者等の精神的・経済的不安を軽減するための相談体制及び情報提供等の充実(条例第12条前半の内容)
- ③事業者及び教育関係者に対するがん患者等への支援に関する知識の普及 (条例第13条)

→早期に実現可能な取組から具体的に検討し, PDCAサイクルで実施・検証

【参考 条例に掲げるその他のがん患者支援の取組】 ※令和6年度以降に検討を想定
 ・緩和ケアの充実やライフステージに応じた支援のための環境整備 (条例第12条後半)
 ・在宅療養希望者への適切な情報提供・相談やその他必要の支援 (条例第14条)



3 令和5年度 検討経過・今後の予定

第1回 (4/19)

- 顔合わせ・情報共有
 - ・国, 都, 市の状況
 - ・各所属母体の取組紹介, がん当事者の意見

がん患者支援の検討を進める必要性,
各関係機関の取組の状況,
がん当事者の思い・困りごとなど, 現状・課題を共有

第2回 (7/27)

- 取組の方向, 関係機関の連携のあり方, 具体的な取組を協議
 - ・市から早期に進められる取組について提案
 - ・市・アフラックから官民連携の患者支援を提案(相談サポート事業)

相談サポート事業の医療サービス・相談
応答に関して多くの意見があり
議論を深めていくべきとの結論

第3回 (9/21)

- 第2回の協議を踏まえた検討
官民連携による相談サポート事業の継続協議

【具体的な取組の検討】

- ①市ホームページリニューアルに併せた情報提供の充実
- ②アフラックとの連携による相談支援
- ③市内事業者等に対する普及・啓発

第4回

- 次年度に向けた協議
 - ・開始した取組や事業化を検討した取組の進捗状況の共有
 - ・次年度の検討予定

など